



川上校区社協だより

川上校区社会福祉協議会

令和3年度 第2号

令和4年3月1日発行

「オミクロン」に負けない地域づくり

昨年の12月頃は、新型コロナ感染ゼロの日が続いており、もしかしたらこれで終息するのではないかと楽観視していた時期でした。ところがオミクロン株の急速な感染拡大により生活環境が激変しました。鹿児島市内では一日300件前後の感染があり、すべての感染者に同じような医療ケアができなくなっています。2月6日現在、コロナ対応の病床使用率は50%程度に達し、軽症や無症状の4,600人余が宿泊施設入所又は自宅待機となっています。また、重症化率は低いと言われていますが、療養者数の増加等に伴い、重症・死亡例も増加している極めて厳しい状況にあります。

吉野・川上地域においても、市内の発生件数から推測して一日数十件が発生していると思われます。地域全体が安全地帯ではなくなり、何時どこで感染しても不思議ではない状況にあると思います。不要不急な外出や会合等は控えるなど、一人ひとりがより厳しい予防対策に取り組むことが求められています。みんなの力を合わせて新型コロナを克服し、安心して暮らせる地域社会を早く、確実に取り戻すために、粘り強く対応ていきましょう。

川上校区社会福祉協議会 会長 南谷一生

川上小 朝のあいさつ運動



川上小学校朝のあいさつ運動に毎月の1日と15日に18人の民生委員が交替で参加しています。子供たちの元気なあいさつに励まれ、頑張る力になってます。



「安心情報キット」配布事業の実施

一人住まいのお年寄りに安心をお届け



民生委員が訪問説明

本人が冷蔵庫へ収納



鹿児島市と社会福祉協議会が連携して 今年度から新規事業として、川上校区を含め12地区で実施することになりました。

「安心情報キット」(命のバトン)は、緊急時の連絡先やかかりつけ病院等を記載したカードを入れた筒状の容器で、冷蔵庫に保管しておき、緊急時の親族等への連絡、救急医療措置等の対応が迅速かつ適切に実施できるように役立てるものです。

校区では、50世帯の対象者に対して民生委員が訪問して取り付けました。今後は定期的にお伺いして見守り活動をするなど、お年寄りが安心して暮らせる日常を支援していきます。

安心情報キット表示

玄関ドア内側に貼り付け



川上ふれあい子育てサロン



日 時

毎月第4木曜日

午前10時～11時30分

場 所

川上福祉館(243-4903)

対象者

0歳～3歳までの幼児

保護者同伴が条件

申込方法

参加できるときに福祉館へ

子育てサロンを運営する主任児童委員

子育てサロンは、高田京子さん(川上町)と轟勝美さん(緑ヶ丘町)二人の主任児童委員が企画運営しています。年間通じて、細心の心配りをしながら楽しく、和やかな雰囲気のサロンづくりに意を尽くしています。

利用者の評判も良く、遠方から参加される方、毎回のように参加される方が多くなっています。家庭では得られない子供同士、親同士の交流や保育士の個別指導も受けられるサロンとしてご利用ください。

是非一度お出でください。スタッフ一同お待ちしています。

10月は運動会(玉入れ)



11月は川上天満宮までお散歩



12月はクリスマス会



右からふじが丘保育園の東理恵子先生
白菊保育園の西絵梨奈先生、轟さん
後列左端の高田さんと当番の児童委員

よかよか体操クラブ紹介

緑ヶ丘よかよか元気クラブ



よかよか体操クラブは、毎月4回、木曜日に緑ヶ丘で実施しています。毎回20人位が集まり、10時程度、程よい汗を流しています。

緑ヶ丘南お達者クラブ



第3の金曜日にお達者クラブのメンバーが、よか毎回のふれあい会食を楽しんでいます。お達者成24年にスタートで今年は10周年となります。

ご長寿のお祝い

人、米寿43人、白寿以上5人、計141人の方々老の日のお祝いとして、記念品にメッセージを添え長を通じて贈呈しました。

、年々、増加傾向にありますが、今年は昨年のべ15人も少なくなりました。要因として、喜寿を迎えた19年から20年の終戦時代の生まれであったではないかと思われます。今後は戦後のベビーベー代となり、増加傾向が続くと推測されます。

福祉を受ける立場である一方、地域の福祉を支して重要な役割を担う時代となりました。無理の元気な心と体の維持に努めて生きましょう。

介護講習会～生活習慣病の予防～



、川上福祉館で介護講習会を開催しました。字社鹿児島県支部講習指導員の砂原先生してお招きし、地域の福祉活動に携わる町内会長等28人が受講しました。

鹿児島市は、「元気なうちから介護予防」の意識と健康の維持向上を図ることを目的として、平成29年度から「よかよか体操」を推奨しています。

川上校区内でも各地域において実施され、高齢者が集い、楽しく交流しながら、元気な心と体づくりに取り組んでいます。今回は緑ヶ丘よかよか元気クラブと緑ヶ丘南お達者クラブを紹介します。



近影がなく数年前の写真です。

年末助け合い共同募金活動

毎年実施している募金活動を今年は11月13日と12月11日にニシムタ吉野店の入口2か所で行いました。

活動は各種福祉団体の方々が共同での実施でした。川上校区社協からは民生委員と役員が参加しました。

多くの方々にご協力をいただき感謝申し上げます。集まった募金は市社協が集計し、その一部は各校区に交付され地域の様々な福祉活動に活用されています。



地域防災対策研修会の実施

(於)日本赤十字社鹿児島県支部

昨年12月14日(火)に福祉委員25人が高齢者福祉バスを利用して、鴨池新町の日赤県支部まで出かけ約2時間の研修を受けました。

研修の重点は、川上校区内の地形等に対応した自災害対策でした。特に風水害に対する備えや発生時の緊急措置、被災後の対応などについて、いつも災害現場で活動している救援隊の講師から、被災現場を想起しながら実体験を交えた具体的な話や動画でよく理解でき参考になりました。また、日赤の役割や救援活動、備蓄資材などについて研修しました。

最後に感謝の意を含め、校区から寄付を託しました。